



アフターコロナでの学校生活

学校長 小紫 達矢

私が三木小学校に赴任して3年が過ぎました。赴任した当初は、新型コロナウイルス感染症が始まったばかりで全国の学校が臨時休校の真っ最中でした。始業式に子どもたちは登校してくれましたが、翌日からまた休校。そこからは約2か月子どもたちが登校しない臨時休校の継続。新1年生の入学式も後日に実施することになりました。夏休みのほとんどが登校日となり、子どもたちや保護者の皆様にもご負担をかけたことと思います。

昨年度のこの時期には感染が広がり、2月のオープンスクールが実施できず、音楽学習発表会で発表予定だった学年は、オンラインでの配信になりました。昨年の「子午線3月号」では、「三木市内の学級閉鎖は、小学校2校4クラス、中学校2校7クラス、計4校11クラスあります。本校でも感染が広がり学級閉鎖を実施しなければならなくなるのではないかと、日々心配をしています。」と、記述していました。今年度は3回のオープンスクールを無事実施することができ、安堵しております。

さて、2月27日の全校朝会で子どもたちにマスクの着用について話をしました。3月13日からマスクの着用について個人の判断にゆだねるとの報道がされています。学校においては、今年度中はマスクの着用について今まで通りで、4月1日からマスクの着用について文科省より近々示されることになるそうです。ただし、卒業式については、子どもたちと教職員はマスクを着用しなくてよいとなっています。来年度は様々な報道から学校生活のほとんどの場面でマスクの着用はしなくてもよくなると思われます。子どもたちには本当に不便な思いをさせてきました。やっと「外していいよ」と、言ってやれるのかという思いです。

また、5月8日から新型コロナウイルスの分類が2類から5類に変更されることになるそうです。ですので、これまでのような同居家族の行動制限はなくなると考えられます。この原稿を書いている2月22日の時点で、全ての情報を把握しているわけではありませんが、これまでの制限が大きく緩和されることは間違いのないでしょう。

しかしながら、十分な換気など学校として必要な感染対策は継続することになります。これまで三木小学校は新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖は非常に少なく済みしました。これは保護者の方が、それぞれ感染対策をしてくださっているお陰です。誠に有り難うございました。引き続きご家庭でも必要な感染対策をとっていただきますようお願いいたします。



年度末になり、学校内では令和5年度の計画を検討しています。このような感染症対策の大きな変更の中で、子どもたちの成長と学びを保障し学校運営を行っていくような様々な検討をし、計画を練っています。保護者の皆様には今後ともご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。